

編集後記

2021 年度編集委員会委員長
亀山秀雄

今回の P2M マガジン 12 号は、巻頭言として新たに事務局長にされた和田氏に所信表明と共に経営者の立場からマネジメントのあり方を書いて頂きました。さらに本学会の評議委員会議長である武富先生に P2M 誕生 20 周年を期に「P2M 誕生の秘話」を書いて頂きました。今まで知られていない創設時の日本の国際的立場から P2M が生まれた話は、記録的な価値を含んだ大変興味深い内容と思います。

特集では 147 ページ 19 本の寄稿を頂き、科学技術とイノベーションを確実に遂行するための示唆に富む内容となりました。特に、企業の方で今年の 3 月に学術的な書籍を出版されたお二人の方に本の内容を基に解説をしていた来ました。そして、図書紹介でお二人の書籍の内容を紹介させて頂きました。これも新しい試みです。

P2M で論文を書かれ、新たに研究室を創設した 2 名の先生の記事は、これから学位を取って大学に残られるには励みになると思います。

今年の 4 月から始まりました第 6 期科学

技術・イノベーション基本計画には、5 年間で国から 30 兆円、官民から 120 兆円と多くの研究予算がこれから提供される事になっています。既に昨年度の補正予算でグリーンイノベーション基金が 10 年間で総額 2 兆円配分されました。それらの予算を企業や大学で活用して科学技術の創成とイノベーションによる社会変革行い、カーボンニュートラルな社会を実現していく事が期待されています。その資金をどのように活用して様々なプロジェクト立案して動かせる人材の育成と新事業創成の方法論として P2M が普及することが求められています。今回の特集がその一助となることを編集委員会委員全員が願っています。

13 号は、9 月末発行予定です。今度は、具体的な事例紹介を中心に企画を進めています。ご期待下さい。

最後になりましたが、年度はじめのご多用の中にもかかわらず、本特集に寄稿して頂いた方々に編集委員会から御礼を申し上げます。

(2021 年 6 月 20 日)